

経緯 意見書

●2016年

- 07月16日 JAGDAより 東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会
エンブレム第1回設計競技についてと題する書面(中綴じ13ページ)とJAGDA会員のみなさまへという書面(2016年7月付)の郵送着
- 07月28日 JAGDA会員のみなさまへ という書面にある意見徴求に関しJAGDA事務局 I 氏に電話にて問い合わせ
同日夕刻 JAGDA事務局 I 氏よりメールで御回答あり。
【 JAGDAへの意見書の送り先 】
(公社)日本グラフィックデザイナー協会 会長 浅葉克己様宛
JAGDAメールアドレスと、郵送時の送付先住所(JAGDA所在地)の記載あり
【 会員よりの意見の公開について 】
本日時点で公開は未定
運営委員会、理事会で共有・検討後、公開の件についてJAGDA全会員に御連絡予定。
- 08月12日 JAGDAよりJAGDA会員のみなさまへ
「東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会エンブレム第1回設計競技について」見解文に関するお知らせ、と題するメールあり
会員に、見解文が本総会において承認の議決にはなっていない事実と誤解を招く進行に事務局としてお詫び。
意見徴求に関してご意見・ご感想の送付先を初めて記載。
一応の締切を9月末までと発表。
- 08月15日 奥村鞞正 意見書 JAGDAに提出
事務局御担当者様宛の前文メールに
意見書中(6) 要望に御回答頂きたく出来れば2ヶ月以内
意見書は弊社TSTJのホームページ上に公開させて頂きたいと記載。
- 08月16日 意見書 ホームページ上で公開
- 09月28日 マツヤ銀座「伝統の未来」展 レセプション会場にて原研哉氏と立話。
その際、意見書の送致済みを確認。
原氏より、次回JAGDA理事会に永井一正氏と奥村鞞正に来て話をしてもらえるかとの打診あり。
- 10月03日 JAGDA事務局K氏より(すでにお聞き及びの事と前置きが記されて)
10月31日(月)15:00~17:00 開催のJAGDA理事会に出席依頼。
意見交換をさせていただきたいとのメールあり。
同日夕刻 奥村鞞正よりK氏アドレスに以下メール御返信。

前略
メール拝受致しました。

まず、お願い致したいのは、私の意見書に対する回答です。
その回答によって意見交換の場に行くべきかの判断を致します。

先日レセプション会場での短い立ち話で、原氏より永井一正さんと私に
来て話をして欲しいと、お伺い致してはりましたが
正式な申し入れとは思いませんでした。

私の意見書中(6) 要望(ページ5~6)にも述べました様に
本件は、広く会員にて議論すべきだと私自身は確信致しており
またどの様な意見であれ9月末日の締切迄に会員から寄せられた意見は
JAGDA会員と言う皆同じ立場での意見や見解であり
私だけが理事会にお呼び頂き話をする事に私自身
納得出来ないし違和感を覚えます。

まず私の意見書に御回答を頂き、その後の判断とさせて下さい。
宜しく御便宜の程お願い申し上げます。

草々
奥村鞞正

同日夜 JAGDA事務局K氏よりメールの御返信あり。

認識が違っており申し訳ありませんでした。ご意向を会長・副会長に伝え、改めてご連絡させて頂きます。

- 10月6日 JAGDA事務局O氏よりJAGDA理事会出席の見送りと
期日迄(10月14日)の 御回答はいただけ無いと思われるメールあり。
全文公開させていただきました。

この度はエンブレム見解文に対するご意見をいただき、ありがとうございます。
改めてお礼申し上げます。
全国の会員の皆様からいただいたご意見は、これから集約し運営委員会(10月25日)、
理事会(10月31日)において諮ることになります。

奥村様へのお返事も少しお時間をいただくこととなりますので、
今回ご提案申し上げた理事会出席の件は見送りとさせていただきます、
何卒ご理解のほど、よろしくお願いいたします。

※ 表記は2016年10月16日現在の経緯

※ 文中、JAGDAメールの個人名はアルファベット表記とさせて頂きました。日時など間違いが無いよう
十分注意しておりますが情報が誤りございましたら以下アドレス、担当高木まで御連絡お願い致します。
oua@tstj-inc.co.jp